

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第1区分  
 【発行日】平成28年12月1日(2016.12.1)

【公表番号】特表2015-536540(P2015-536540A)  
 【公表日】平成27年12月21日(2015.12.21)  
 【年通号数】公開・登録公報2015-080  
 【出願番号】特願2015-538598(P2015-538598)  
 【国際特許分類】

H 0 5 B 37/02 (2006.01)

【 F I 】

H 0 5 B	37/02	H
H 0 5 B	37/02	E
H 0 5 B	37/02	L

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月13日(2016.10.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

照明システムにおいて個別照明の設定を与える方法であって、

第1のユーザの第1のユーザ照明要求を示す第1のユーザ照明情報を識別するステップであって、前記第1のユーザ照明要求は、基準色温度における第1の光強度及び基準光強度における第1の色温度を示す当該ステップと、

第2のユーザの第2のユーザ照明要求を示す第2のユーザ照明情報を識別するステップであって、前記第2のユーザ照明要求は、前記基準色温度における第2の光強度及び前記基準光強度における第2の色温度を示す当該ステップと、

前記第1のユーザ及び前記第2のユーザが予め規定された距離の範囲内に存在し、前記第1のユーザ照明要求と前記第2のユーザ照明要求との違いが予め規定された違いの範囲を超えている時に、前記第1のユーザに修正された第1の光特性を有する第1の照明を与え、前記第2のユーザに第2の光特性を有する第2の照明を同時に与えるステップと

を有し、

前記修正された第1の光特性は、修正された第1の光強度及び修正された第1の色温度の少なくとも1つを含み、

前記第2の光特性は、放射される第2の光強度及び放射される第2の色温度を含み、

前記第1の照明及び前記第2の照明は、第1の条件又は第2の条件を満たし、

前記第1の条件では、前記修正された第1の光強度と前記放射される第2の光強度との間の修正された光強度の絶対差が、前記第1の光強度と前記第2の光強度との間の元の光強度の絶対差よりも小さく、

前記第2の条件では、前記修正された第1の色温度と前記放射される第2の色温度との間の修正された色温度の絶対差が、前記第1の色温度と前記第2の色温度との間の元の色温度の絶対差よりも小さく、

前記第1の照明が、フェイス第1光強度を有するフェイス第1照明成分及びタスク第1光強度を有するタスク第1照明成分を含み、

前記フェイス第1光強度は、前記タスク第1光強度が前記第1のユーザ照明要求に対するよりも前記第1のユーザ照明要求に近い、当該方法。

## 【請求項 2】

前記修正された第 1 の光特性が、前記修正された第 1 の光強度及び前記修正された第 1 の色温度の両方を含む、請求項 1 記載の方法。

## 【請求項 3】

前記修正された第 1 の色温度が、前記修正された第 1 の光強度において前記第 1 のユーザ照明要求を維持するように調節される、請求項 2 記載の方法。

## 【請求項 4】

前記第 2 の照明が、フェイス第 2 光強度を有するフェイス第 2 照明成分及びタスク第 2 光強度を有するタスク第 2 照明成分を含む、請求項 1 記載の方法。

## 【請求項 5】

前記第 1 の照明が間欠的に与えられる、請求項 1 記載の方法。

## 【請求項 6】

第 1 のユーザの位置を識別するステップと、第 2 のユーザの位置を識別するステップと、前記予め規定された距離を決定するために前記第 1 のユーザの位置を前記第 2 のユーザの位置と比較するステップとを更に有する、請求項 1 記載の方法。

## 【請求項 7】

前記第 2 の条件では、前記修正された第 1 の光強度と前記放射される第 2 の光強度との間の前記修正された光強度の絶対差が、前記第 1 の光強度と前記第 2 の光強度との間の前記元の色温度の絶対差よりも大きい、請求項 1 記載の方法。

## 【請求項 8】

照明システムにおいて個別照明の設定を与える方法であって、

第 1 のユーザが、相反する照明のユーザの近くにいない時に、前記第 1 のユーザに与える第 1 の照明を識別するステップであって、前記第 1 の照明は、前記第 1 のユーザの第 1 のユーザ照明要求に適合し、第 1 の照明光出力強度及び第 1 の照明色温度を有する当該ステップと、

前記第 1 のユーザ照明要求が前記第 1 のユーザの近くにいる相反するユーザの相反するユーザ照明要求と一致しない時に、前記第 1 のユーザに第 2 の照明を与えるステップと

を有し、前記第 2 の照明は、前記第 1 の照明光出力強度が前記相反するユーザ照明要求の前記光出力強度に対するよりも前記相反するユーザ照明要求の光出力強度に近い第 2 の照明光出力強度を有し、

前記第 1 の照明が、フェイス第 1 光強度を有するフェイス第 1 照明成分及びタスク第 1 光強度を有するタスク第 1 照明成分を含み、

前記フェイス第 1 光強度は、前記タスク第 1 光強度が前記第 1 の照明光出力強度に対するよりも前記第 1 の照明光出力強度に近い、当該方法。

## 【請求項 9】

前記第 2 の照明は、前記第 1 の色温度が前記相反するユーザ照明要求の前記色温度に対するよりも前記相反するユーザ照明要求の前記色温度に近くない第 2 の照明色温度を有する、請求項 8 記載の方法。

## 【請求項 10】

前記第 2 の照明が、フェイス第 1 光強度及びフェイス第 1 色温度を有するフェイス第 1 照明成分と、タスク第 1 光強度及びタスク第 1 色温度を有するタスク第 1 照明成分とを含む、請求項 8 記載の方法。

## 【請求項 11】

前記第 2 の照明が、前記第 1 の照明に対して青ないし緑領域及び黄ないし赤領域の少なくとも 1 つにおいて大きくなるスペクトルパワー分布を有する、請求項 8 記載の方法。

## 【請求項 12】

前記第 2 の照明光出力強度において前記第 1 のユーザ照明要求を達成する前記第 2 の照明の前記第 2 の照明色温度を設定するステップを更に有する、請求項 8 記載の方法。

## 【請求項 13】

照明システムにおいて個別照明の設定を与える方法であって、

第1のユーザが、相反する照明のユーザの近くにいない時に、前記第1のユーザに与える第1の照明を識別するステップであって、前記第1の照明は、前記第1のユーザの第1のユーザ照明要求に適合し、第1の照明光出力強度及び第1の照明色温度を有する当該ステップと、

前記第1のユーザ照明要求が前記第1のユーザの近くにいる相反するユーザの相反するユーザ照明要求と一致しない時に、前記第1のユーザに第2の照明を与えるステップと

を有し、前記第2の照明は、前記第1の照明色温度が前記相反するユーザ照明要求の前記光色温度に対するよりも前記相反するユーザ照明要求の光出力色温度に近い第2の照明色温度を有する、当該方法。

【請求項14】

前記第2の照明が、フェイス第1光強度及びフェイス第1色温度を有するフェイス第1照明成分と、タスク第1光強度及びタスク第1色温度を有するタスク第1照明成分とを含む、請求項13記載の方法。

【請求項15】

前記第2の照明が、前記第1の照明に対して青ないし緑領域及び黄ないし赤領域の少なくとも1つにおいて大きくなるスペクトルパワー分布を有する、請求項13記載の方法。